

2026年10月26日発行

第二号

古今東西!!
天文通信局



恐怖!砂漠を歩く岩?!

重さ数百キロの岩が数分にして大移動

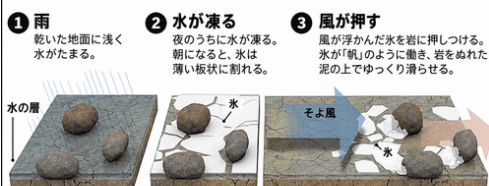
アメリカ・カリフォルニア州のデスバレー国立公園にある「レーストラック・プラヤ」で見られる現象で、小さな小石から重さ300キロを超える岩が突如大移動をすることがあります。「プラヤ」は、雨の後に水がたまり、やがて乾く平らな湖底のこと。そこにある岩が、地面を滑ったような長い跡を残すため、「セーリング・ストーン（航海する石）」と呼ばれています。



2013年から2014年にかけて、研究者たちは岩が実際に動くところを観測しました。仕組みは、滅多に雨の降らないデスバレー砂漠の平らな地面に雨が溜まり、冬の冷え込みによって水が凍ると、割れた氷の板が秒速約3〜5メートルの風に押されて動き、その氷が岩を押します。押された岩は泥と化した砂漠の大地を滑って移動していたのです。滅多に揃わない条件だからこそ、研究者が直接観測するまで、長く謎とされていたのですね!

岩はどうやって動くのか

新しい科学論文が、デスバレー国立公園のレーストラック・プラヤで「動く岩」を押す仕組みを研究



出典: PLOS ONE

Javier Zarracina / @latimesgraphics